

第29回 兵庫県生物学会総会報告

期 日 1975年5月24, 25日
会 場 西宮市立勤労会館

第1日

- 会長あいさつ 室井 綽 会長
- 来賓祝辞 県教委 仁王春樹 指導主事
- 森・三木・紅谷生物研究奨励金授与
東 正雄氏 貝類の研究
堀 治三郎氏 神戸属群の植物化石の研究
仲井啓 郎氏 } 高校生物研究部の指導
永井壮一郎氏 }

研究発表

- 樋口節治氏 引例の教材植物の範囲
- 富川哲夫氏 ミジンコの外部形態の季節変化
- 松宮徳雄氏 日本産オオギセルの分布生態
- 東 正雄氏 ウミウサギ科の分類学的研究
- 久米正彦氏 超音波ドップラー法による妊娠診断法に関する研究の概説

議 事

1. 会務報告 理事長 当津 隆氏
昭和49年度の行事報告〔兵庫生物7巻1号参照〕
各支部長、会員各位へのお願い、
 - 会員各位へ
 - 第30回総会にふさわしい企画案をお寄せください。
 - 会員の個人原簿カードをつくりました。異動の都度、お知らせください。次の方方への総会通知が戻ってきました。ご存知ありませんか。甘中照雄、伊勢田裕子、辻啓介、中島晃子、中野正臣、松本 浩
 - 支部長へ
 - 本年度支部長、本部常任理事、理事をお知らせください。
 - 各支部の年間行事計画、ニュースをお知らせください。
 - 来年度の本学会生物研究奨励金受賞者の推薦を考えておいてください。（各支部からの推薦をうけて、常任理事会で原案をつくり、理事会にはかります）
2. 会計報告 平畑政幸氏（裏表紙参照）
3. 役員承認について 東 敏雄氏
理事長の設置について
会則には明記されていないが、過去において理事長を置いたときもあるので、この際、会長を補佐す

るために理事長を復活設置したい旨の趣旨説明があり、満場一致で当津隆氏を理事長に承認

4. 行事計画 当津 隆氏

- 夏期研修会
8月19, 20, 21日（2泊3日）六甲山高山植物園で、研究発表と野外観察の指導
 - 公開講座
第2回公開講座を計画中
5. 次期総会場の決定
昭和51年度総会場は東播地区（明石）に決定、
 6. 創立30年記念企画について 平畑政幸氏
「兵庫の生物記」の出版企画について、既刊の「兵庫の自然」と重複しないで、楽しい読みものにしたい（別紙プリント配布）。

講 演 1

農薬と公害

神戸大学農学部教授 奥谷禎一博士

- I. 農薬散布によって生じる諸問題。
 - 最近の主な農薬の生産状況の推移、農薬はどのように使われているか。
昔（約30年ぐらい前まで）は水田で農薬を使用することはほとんどなく、当時は青森県と長野県のリンゴ園でわずかに使用されていたにすぎなかった。しかし、現在ではあらゆる農作物に使用されるようになり、リンゴ園においては年間13回も施用されている。
 - 害虫相の変化
薬剤を使用したら害虫は減ったかという、減ったものもあるが、一方増えてきたものもたくさんある。たとえば、リンゴ園でDDT、パラチオンを使うようになってからダニが非常に増えてきた。
 - 農薬が人体に及ぼす影響
BHCの散布量と牛乳中のBHC含有量との関係（グラフ参照）、地域的（府県別）に散布量と牛乳中のBHC量とははっきりと比例の関係を示している。
- II. 殺虫剤の作用
どういう作用で虫を殺しているのか
神経伝達を乱す。例えば有機リン剤やカーバメイト剤はコリンエステラーゼの作用を阻害する。 γ BHCはイエバエの体内では最終的には無害なものに分解されるが、ホ乳動物の体内や土中では無害物にまで分解されない。マロンやパラチオンのような有機リン剤も全く無害なものまでには分解されな

い。

- 薬剤の組み合わせによる効果
- 殺虫剤の動物体内での濃縮
- 殺虫剤の自然分解

スミチオン、マラソンなどは屋内では1か月以上残留し、屋外では1週間か10日後には恐れる必要がない程度に分解される。

Ⅲ. 薬剤の空中散布による

- (1) 地上棲ゴミムシ類の変化について
- (2) 飛翔性昆虫の変化について

講演2

オリの中の動物園

王子動物園 亀井一成氏

チンパンジーの人工哺育について

現地から輸入してオリの中に飼育してから9年目に出産が成功したが、2日目に死んでしまった。翌年また生れたが、また吸乳できないで死んだので、次は家庭へ持って帰って育てた。初めは家族全員に反対されたが、後には家族全員の協力を得て成功した。その他児童生徒を連れていった場合の動物園内のマナーや動物の観察のさせ方について、スライドにより具体的に懇切な解説をしていただいた。

第2日

甲山週辺の自然観察会

主として近藤浩文氏に案内，説明を受けた。



甲山公園の見学

と き 50. 4. 26

と ころ 神戸市立教育研究所

議 題

1. 第29回総会について
 - 日時，場所その他具体的計画の最終確認
 - 世話係の分担
 - 研究奨励金授与者の選考
2. 夏期研修会について
 - 場 所 六甲山（高山植物園を中心に）
 - 期 日 8月18～20日
 - 案内書を6月中旬頃に発送
3. 公開講座について
 - 中西，広瀬，釜江先生を予定
4. 現代生物ゼミナールについて
 - 次回は6月16日（月）「最近の動物生態学」兵庫医大の旭先生に決定
5. 第30回記念総会について

と き 50. 10. 25

と ころ 神戸市立夢野小学校

議 題

兵庫県生物学会創立30周年記念企画について

① 記念講演会

第2回公開講座「南極の自然」中西哲先生

日 時 50. 7. 29 (14:00～16:00)

場 所 太陽神戸銀行三宮支店会議室

第3回は広瀬先生に依頼予定

② 記念出版

(ア) 兵庫の生物記 具体案検討（平畑）

(イ) 兵庫県の天然記念物写真集（当津）

③ 記念総会

東播支部で明石を中心に計画

期 日 51年5月22日(土) 23日(日)

第1日 明石市中央公民館（明石公園内）

第2日 太山寺原生林の自然観察

④ 記念研修旅行

目的地 台湾（台北—台中—台南）

期 日 51年7月26日(月)～8月1日(日)

費 用 1人約15万円

会員宛に案内状を発送して希望者を募集する